

平成28年度 全国学力・学習状況調査における利府西中学校の結果について

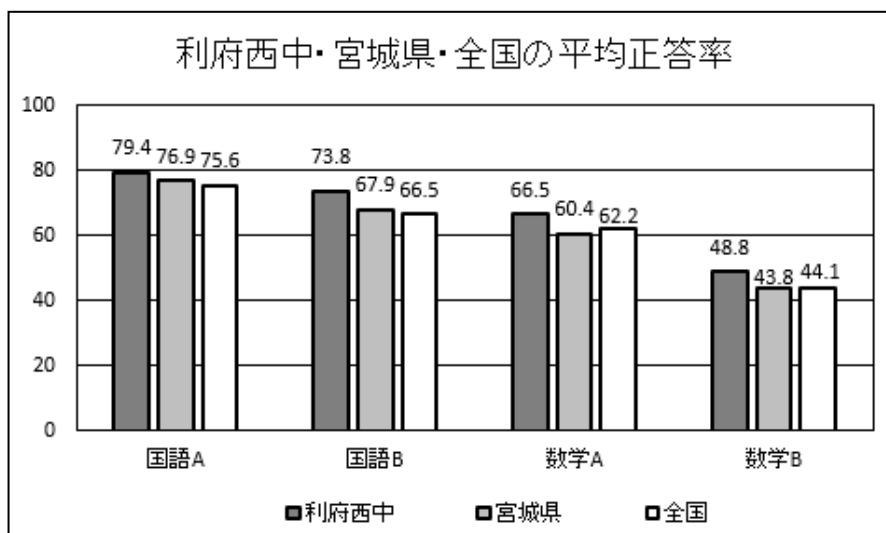
利府町立利府西中学校 校長 菅原 裕

清秋の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動に対しまして、ご理解・ご協力を賜っておりますことに心より感謝申し上げます。

さて、今年の4月19日に全国の公立中学校に通う3年生を対象に、「全国学力・学習状況調査」が行われました。これに基づいて、本校の生徒の学習や生活の状況について、良さや課題をまとめましたので、お知らせいたします。なお、3年生には個票も配付しております。

1 学力調査の結果

国語・数学の全体的な力は、宮城県・全国と比べ高いことが分かりました。



国語Aと数学Aは知識に関する問題、国語Bと数学Bは活用に関する問題です。

2 国語

領域別正答率は、国語Aは2～6ポイント程度、国語Bは7～9ポイント程度、全国・宮城県よりも高いことが分かりました。

◎「根拠を明確にして自分の考えを具体的に書く」、「必要な情報を読み取り、自分の考えを書く」といった、読むことと書くことの連動する課題については、全国を約10～15ポイント上回りました。

△「文脈に即して漢字を書く」ことや、「語句の意味を理解し文脈の中で適切に使う」ことについては、県・全国を下回った問題もありました。

＜対策＞

- ・漢字プリントを週末課題にし、新出漢字のみならず既習漢字にも取り組ませています。
- ・特徴のある語句については、ワークブックを用いて意味を調べさせたり、家庭学習の課題として与えたりしています。

3 数学

領域別正答率は、数学Aは5ポイント程度、数学Bは3～9ポイント程度、全国・宮城県よりも高いことが分かりました。

◎ほとんどの問題において、正答率が県・全国の平均正答率を上回りました。特に数学Bでは、「図形」「資料の活用」の記述問題の正答率が高く、論理的思考力が身についています。

△数学Aでは、2年次に学習した「1次関数」の平均正答率の高いものの、1年次に学習した「比例・反比例」は、県・全国を下回っています。また、問題を十分に読み取らずに答えたり、途中計算を省いたりしたことによる間違いがみられます。

＜対策＞

- ・計算問題を課題として与えています。
- ・授業での振り返りを大切にして、理解を定着させていきます。

4 学習状況調査の結果

- ◎「早寝」「早起き」「朝ごはん」規則的な生活習慣ができています。
- ◎メディア（テレビ、スマートフォン、インターネットなど）に触れる時間を1～2時間程度に収めています。
- ◎予習を継続して行っている生徒が多いです。
- ◎休日は、3～4時間程度の家庭学習をしています。
- △「復習を（あまり）行わない」という生徒が、県・全国よりも高いです。
- △授業に自分の考えを持っているものの、意見を出し合ったり発表したりしない傾向があります。

利府西中学校の学力向上に向けての取組（ゆたかに 明るく たくましく）

1 知識を生かして、自学でさらに深める（ゆたかに）

- ・授業で学んだことを自分の言葉でまとめることで、もう一步踏み込んだ課題に気づき、興味・関心を持って自学（家庭学習）に取り組めるようにします。

2 安心して生活できる環境（明るく）

- ・お互いを認め合う心のつながりをつくり、安心して自分の考えを発表できる関係を築きます。

3 粘り強く継続する（たくましく）

- ・「（続けたことで）～ができた」という成功経験をする機会を増やし、自分の個性をさらに伸ばせるようにしていきます。

